

# 兵庫県下の経済動向

平成23年7月

但馬銀行  
TAJIMA BANK

# 目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

## 【概 況】

最近の県内景気は、震災による下押し圧力が徐々に和らぐ中で、生産面を中心に持ち直しつつある。生産は、東日本地区への供給増等を企図した生産積み増しの動きがみられるほか、サプライチェーンの復旧進捗等もあって、全体として着実に回復している。輸出は、震災後の生産活動の低下に伴う影響を残しつつも、緩やかに増加している。個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、震災後にみられたマインド悪化や供給制約の影響が減衰する中で、全体としては緩やかに持ち直しつつある。この間、設備投資は増加計画にある。一方で、雇用・所得環境は改善傾向に一服感がみられる。住宅投資は、震災の影響などもあって、弱めの動きがみられている。公共投資は減少している。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が2か月連続で前年を下回った。乗用車販売は、エコカー補助金終了の影響により、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車とも減少したことから、10か月連続で前年を下回った。家電販売は、スマートフォンの販売が引き続き好調な中で、地上派アナログ放送停波に伴う薄型テレビやレコーダーの更新需要や節電意識の高まり（省エネ家電）もあり、全体としても増加している。

設備投資は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、現時点では、2010年度の減少から2011年度は増加する計画となっている。

住宅投資は、持家、貸家、分譲とも減少したことから、全体では5か月連続で前年を下回った。

公共工事は、神戸市などが増加したものの、国、兵庫県などが減少したことから、7か月連続で前年を下回った。

貿易は、輸出がアジア、米国、EU向けが増加し、17か月連続で前年を上回った。また、輸入については7か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、情報通信機械工業、一般機械工業、金属製品工業などの上昇により2か月連続で上昇した。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を下回り、新規求人数は前年を上回った。

また、所定外労働時間は前年を上回ったものの、常用労働者数および一人当たり名目賃金は前年を下回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年を下回って推移している。

企業倒産は、件数が前月を上回ったものの、前年を下回り、金額は前月および前年を下回った。

### 兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

4月の兵庫DIは、先行指数14.3%、一致指数66.7%、遅行指数43.8%となった。

4月の兵庫CIは、先行指数91.2、一致指数95.3、遅行指数100.0となった。

兵庫DIは、一致指数が2か月ぶりに好不況の判断の分かれ目となる50%を上回ったが、先行指数が5か月ぶり、遅行指数は3か月ぶりに50%を下回った。

一方、兵庫CIは、先行指数および遅行指数が2か月連続で前月差減となり、一致指数は2か月ぶりに前月差増となった。

県統計課は「一致指数は改善を示しているものの、景気の先行きを示す指数は2か月連続でマイナスとなっており、一部には足踏みを示す動きが見られる」としている。

\*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【生 産】

5月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は102.7、前月比3.9%上昇。出荷指数は98.6、同2.0%上昇。在庫指数は117.5、同4.4%上昇。在庫率は121.8、同3.9%上昇。生産指数、出荷指数は2か月連続、在庫指数は12か月連続で上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が7.4%増で18か月連続で上昇、出荷は3.6%増で2か月ぶりに上昇した。また在庫は18.2%増で11か月連続で上昇した。

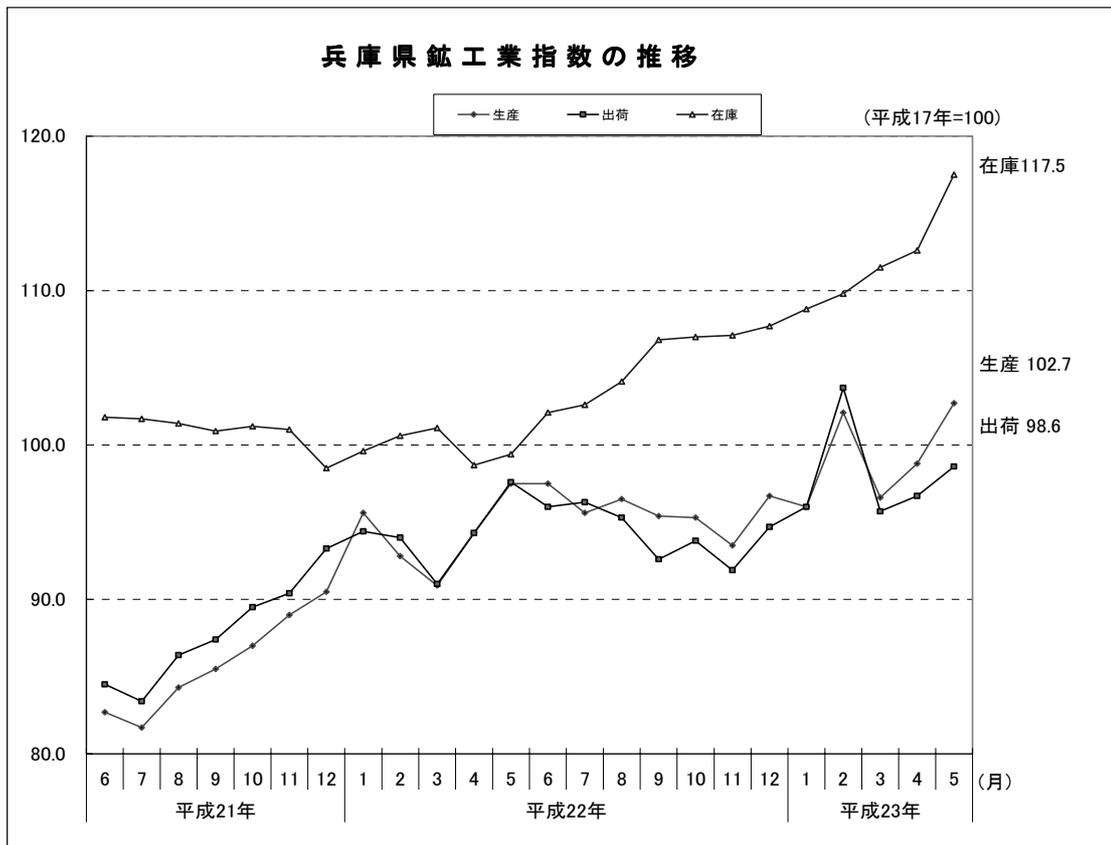
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、パーソナルコンピュータ等の「情報通信機械」が128.5%、シヨベル系掘削機械等の「一般機械」が18.0%、ガス風呂がま等の「金属製品」が13.9%、船用ディーゼル機関等の「輸送機械」が7.3%、内燃機関電装品等の「電気機械」が2.0%、各々上昇したものの、医薬品等の「化学」が7.6%、シリコントランジスタ(1W未満)等の「電子部品・デバイス」が7.6%、特殊鋼熱間圧延鋼材等の「鉄鋼」が6.8%、パン類、しょうゆ等の「食料品」が3.1%、各々低下した。

県統計課は、「総じてみれば兵庫県の生産活動は、持ち直しの動きが見られる」としている。

5月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整 済指数	対前月比 増減(%)	原 指 数	
				対前年同月 比増減(%)
生 産	102.7	3.9	93.0	7.4
出 荷	98.6	2.0	89.1	3.6
在 庫	117.5	4.4	116.3	18.2
在 庫 率	121.8	3.9	132.5	8.3

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



## 5月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	92.6	6.8	上昇	鋳鉄管、ブリキ、中形棒鋼、普通鋼冷延電気鋼帯
			低下	特殊鋼熱間圧延鋼材、亜鉛めっき鋼板、鋼半製品、特殊鋼冷間仕上鋼材(圧延鋼材)
金属製品	101.0	13.9	上昇	ガス風呂がま、石油温水給湯暖房機、ガス湯沸器、ガス温風暖房機
			低下	超硬チップ、粉末や金製磁性材料、粉末や金製機械材料、鋼管製管継手
一般機械	126.8	18.0	上昇	ショベル系掘削機械、反応用機器、建設用クレーン、水管ボイラ
			低下	蒸気タービン部品、混合機・かくはん機・粉碎機、プラスチック用金型、超硬エンドミル
電気機械	128.7	2.0	上昇	内燃機関電装品、非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、リチウムイオン蓄電池、クッキングヒーター
			低下	電力変換装置、一般用タービン発電機、開閉制御装置、太陽電池モジュール
情報通信 機械	103.5	128.5	上昇	パーソナルコンピュータ、カーナビゲーション、固定通信装置、無線位置測定装置
			低下	搬送装置、カーオーディオ、プリンタ
電子部品 デバイス	152.3	7.6	上昇	PDPモジュール、アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上) IGBT、トランス(コイルを含む)、シリコンウエハ
			低下	電界効果型トランジスタ、シリコンダイオード、
輸送機械	72.1	7.3	上昇	船用ディーゼル機関、駆動伝道・操縦装置部品、二輪自動車(125ml超)、機関部品
			低下	旅客車、特装ボデー、ショベルトラック
化 学	91.2	7.6	上昇	化粧品、石油化学品製造用触媒、エポキシ樹脂、酸化亜鉛
			低下	医薬品、無水酢酸、純ベンゼン、酢酸(99%換算)
食 料 品	95.5	3.1	上昇	めん類、清酒、小麦粉、冷凍調理食品、
			低下	パン類、しょうゆ、配合飼料、乳飲料

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた6月の県内百貨店売上高は、前年同月比2.6%減の170億12百万円となり、2か月連続で前年を下回った。6月下旬からの気温上昇に伴い夏物衣料が伸びたため、大阪・梅田の「JR大阪三越伊勢丹」開業の影響を受けた5月より減少幅は縮小した。ただ、中元商戦で苦戦する店も目立った。

神戸地区では、日傘やストールなど紫外線防止関連商品などが好調。大丸神戸店、そごう西神店では、「父の日」やクールビズ向けのポロシャツなどが伸び、紳士服を中心に衣料品が前年を上回った。一方、大阪・梅田などの百貨店競争が激化した影響もあり、婦人服や中元向けの食料品が伸び悩んだ店もあった。姫路・加古川地区は、0.2%増加。山陽百貨店で食料品が9.8%伸びるなど検討した。日本百貨店協会は「東日本大震災による自粛ムードが落ち着き、全国的には前年比プラスとなったが、神戸は大阪の百貨店競争の影響もあって前年を下回ったのだろう」とみている。

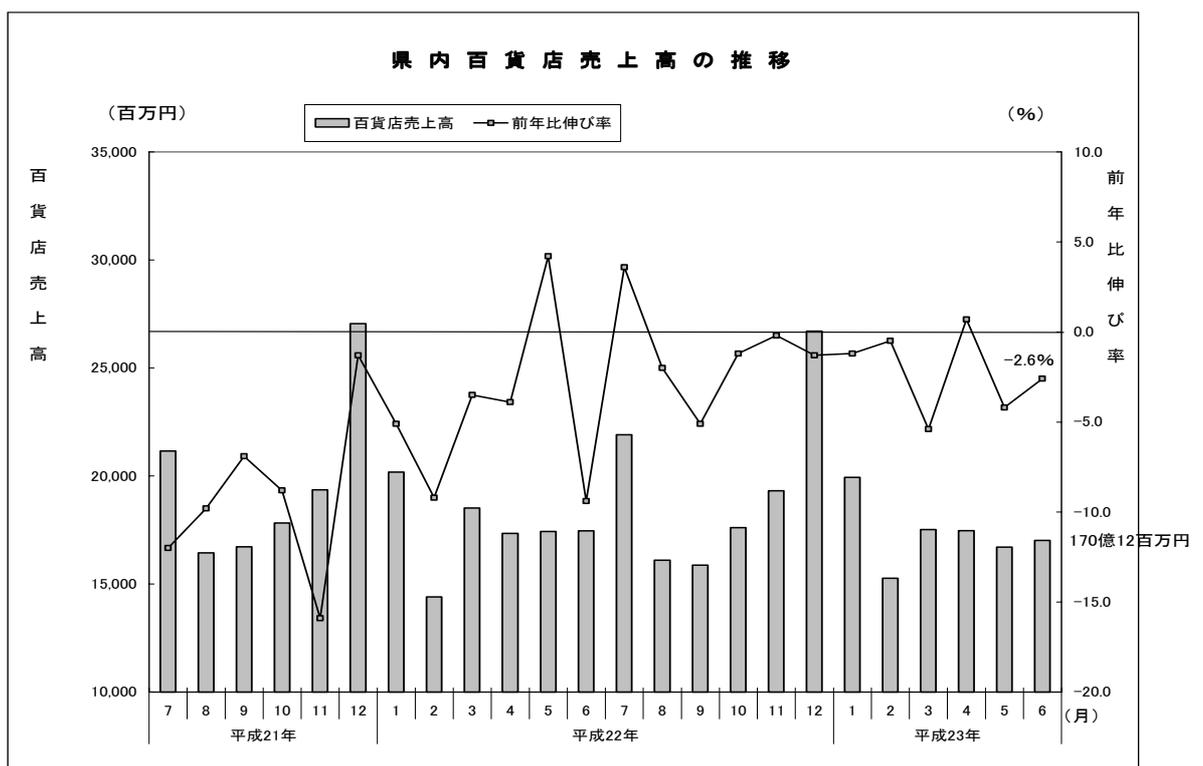
6月の県内百貨店売上高

品目	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	870( 2.9)	199( 7.0)	1,069( 0.9)
婦人服・洋品	3,781( 1.9)	616( 3.5)	4,397( 2.2)
子供服・洋品	393( 3.2)	71( 10.4)	464( 1.3)
身の回り品	1,515( 8.2)	287( 2.7)	1,803( 7.3)
家庭用品	620( 2.5)	162( 13.6)	782( 0.5)
食料品	4,141( 3.2)	887( 3.5)	5,029( 2.1)
雑貨	2,041( 5.5)	430( 5.8)	2,471( 5.5)
その他	701( 1.7)	290( 8.1)	992( 3.5)
計	14,066( 3.1)	2,946( 0.2)	17,012( 2.6)

\* 単位百万円、未満切捨て。( )内は前年同月伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

\* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



## 【個人消費】『新車登録』

県内6月の乗用車新車登録台数は11,464台、前年同月比22.3%減と10か月連続で前年同月の実績を下回った。エコカー補助金終了の影響によるもの。

6月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は4,162台(前年同月比24.6%減)、小型乗用車は3,939台(同23.2%減)、軽乗用車は3,363台(同18.1%減)、乗用車合計で11,464台(同22.3%減)となった。

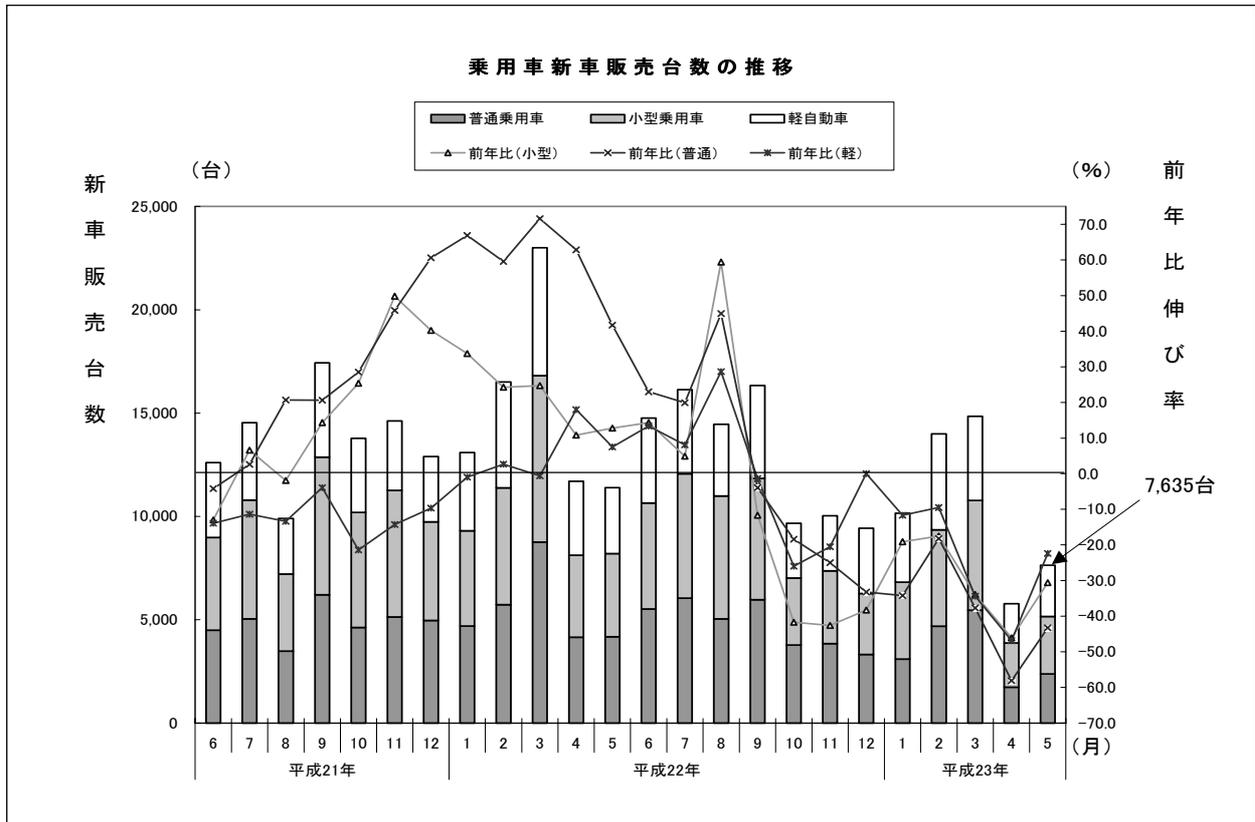
また貨物車等では、普通貨物車は187台(同31.3%減)、小型貨物車は475台(同14.6%減)、軽貨物車は1,356台(同27.8%減)、バスは19台(同26.7%増)となった。

### 6月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	4,162	24.6	96,721	25.6
小型乗用車	3,939	23.2	105,624	22.3
軽乗用車	3,363	18.1	92,348	17.0
<b>乗用車合計</b>	<b>11,464</b>	<b>22.3</b>	<b>294,693</b>	<b>21.9</b>
普通貨物車	187	31.3	6,969	29.4
小型貨物車	475	14.6	15,066	10.5
軽貨物車	1,356	27.8	34,453	21.8
<b>貨物車合計</b>	<b>2,018</b>	<b>25.4</b>	<b>56,488</b>	<b>20.1</b>
バス	19	26.7	644	29.3
<b>登録車総計</b>	<b>13,501</b>	<b>22.8</b>	<b>351,825</b>	<b>21.6</b>

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



## 【設備投資】

内閣府が7月7日に発表した機械受注統計によると、平成23年5月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、23年4月前月比3.1%増の後、5月は同2.3%減の1兆9,893億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、4月前月比3.3%減の後、5月は同3.0%増の7,334億円となった。

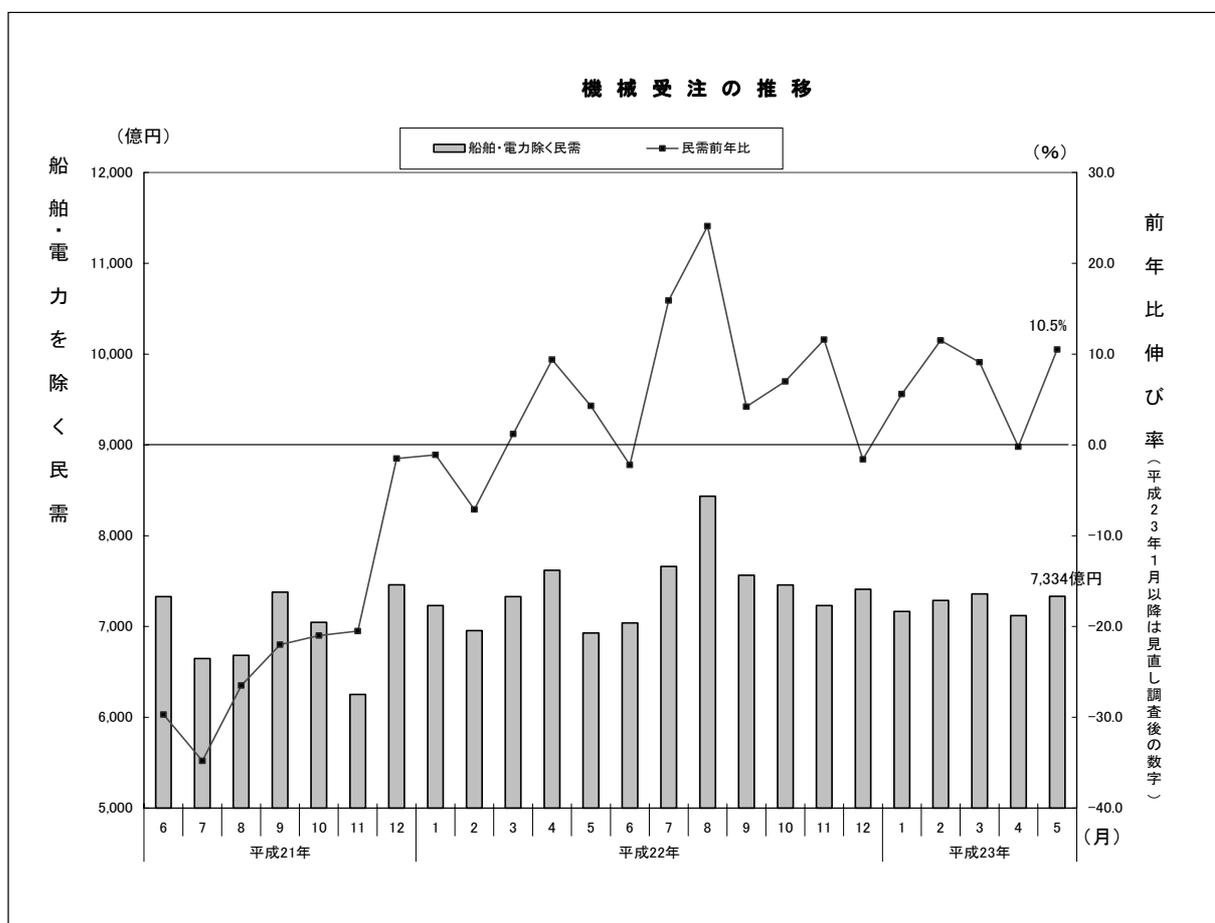
内訳をみると、製造業が同1.4%減の3,149億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同5.4%減の3,841億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、造船業(124.2%増)、非鉄金属(97.1%増)、石油製品・石炭製品(88.6%増)、精密機械(31.5%増)、情報通信機械(28.4%増)等の9業種で、その他輸送用機械(45.4%減)、鉄鋼業(22.9%減)、化学工業(8.3%減)、電気機械(2.4%減)等の6業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、電力業(140.7%増)、鉱業・採石業・砂利採取業(68.2%増)、建設業(41.5%増)、卸売・小売業(35.8%増)等の6業種で、情報サービス業(12.8%減)、運輸業・郵便業(9.6%減)、リース業(7.4%減)、金融・保険業(2.3%減)等の6業種は減少となった。

兵庫県下においては、2011年度設備投資額は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

\* 全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2011年6月 兵庫県  
設備投資計画：全産業前年度比+7.3% (製造業+13.4%、非製造業 9.4%)



機械受注統計（平成23年5月分）

	22年 4~6月 実績	7~9月 実績	10~12月 実績	1~3月 実績	23年 4~6月 見通し	23年 2月 実績	3月 実績	4月 実績	5月 実績
受注総額	55,749 ( 0.2) [ 27.0]	59,380 ( 6.5) [ 25.5]	61,589 ( 3.7) [ 15.7]	67,789 ( 10.1) [ 18.8]	68,215 ( 0.6) [ 13.9]	24,793 ( 6.6) [ 33.6]	19,742 (-20.4) [ 4.9]	20,354 ( 3.1) [ 3.7]	19,893 ( -2.3) [ 14.7]
民 需	24,318 ( -0.2) [ 1.2]	26,640 ( 9.5) [ 16.1]	26,554 ( -0.3) [ 13.6]	27,362 ( 3.0) [ 10.8]	29,108 ( 6.4) [ 11.8]	10,257 ( 15.6) [ 32.3]	8,229 (-19.8) [ -1.7]	8,461 ( 2.8) [ -3.6]	8,873 ( 4.9) [ 20.1]
” (Ex 船・電)	20,457 ( 1.9) [ 7.9]	21,596 ( 5.6) [ 13.9]	20,660 ( -4.3) [ 5.6]	21,813 ( 5.6) [ 8.9]	24,083 ( 10.4) [ 9.1]	7,288 ( 1.7) [ 11.5]	7,360 ( 1.0) [ 9.1]	7,119 ( -3.3) [ -0.2]	7,334 ( 3.0) [ 10.5]
製 造 業	8,373 ( -2.7) [ 13.1]	9,477 ( 13.2) [ 34.4]	9,314 ( -1.7) [ 11.5]	9,807 ( 5.3) [ 16.3]	11,275 ( 15.0) [ 22.1]	3,310 ( 3.1) [ 18.0]	3,285 ( -0.8) [ 18.3]	3,194 ( -2.7) [ 7.4]	3,149 ( -1.4) [ 22.5]
非製造業 (Ex 船・電)	11,926 ( 4.9) [ 4.3]	12,221 ( 2.5) [ 2.3]	11,600 ( -5.1) [ 0.3]	11,761 ( 1.4) [ 3.5]	12,814 ( 9.0) [ -0.6]	3,941 ( 1.6) [ 6.5]	3,943 ( 0.1) [ 3.1]	4,058 ( 2.9) [ -5.2]	3,841 ( -5.4) [ 1.5]
官 公 需	6,705 ( -5.1) [ -4.8]	6,907 ( 3.0) [ -10.1]	6,715 ( -2.8) [ 2.6]	6,310 ( -6.0) [ -10.8]	6,366 ( 0.9) [ -6.4]	2,237 ( 9.2) [ 0.7]	2,026 ( -9.4) [ -12.6]	2,002 ( -1.2) [ -16.3]	2,217 ( 10.7) [ 11.3]
外 需	23,027 ( 16.5) [ 94.5]	25,221 ( 9.5) [ 54.1]	25,426 ( 0.8) [ 22.4]	28,817 ( 13.3) [ 43.1]	29,396 ( 2.0) [ 19.8]	10,186 ( 6.7) [ 50.3]	9,088 (-10.8) [ 23.2]	8,900 ( -2.1) [ 17.1]	8,315 ( -6.6) [ 10.6]
代 理 店	2,376 ( 6.0) [ 32.1]	2,391 ( 0.6) [ 21.9]	2,328 ( -2.7) [ 8.9]	2,512 ( 7.9) [ 12.3]	2,645 ( 5.3) [ 7.2]	829 ( -1.6) [ 9.4]	839 ( 1.2) [ 12.1]	1,035 ( 23.3) [ 20.8]	803 ( -22.4) [ 8.6]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
  2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

## 【住宅投資】

県内4月の新設住宅着工戸数は、総数で2,093戸(前年同月比16.6%減)となり、持家、貸家、分乗住宅とも減少し、全体では5か月連続で前年を下回った。また、前月比では514戸の減少となった。

### 5月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	873	8.8	23,528	2.9
・分譲住宅	544	20.9	18,822	42.9
貸家系・貸家	665	21.6	20,669	5.0
・給与住宅	11	38.9	707	3.9
<b>総数</b>	<b>2,093</b>	<b>16.6</b>	<b>63,726</b>	<b>6.4</b>

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

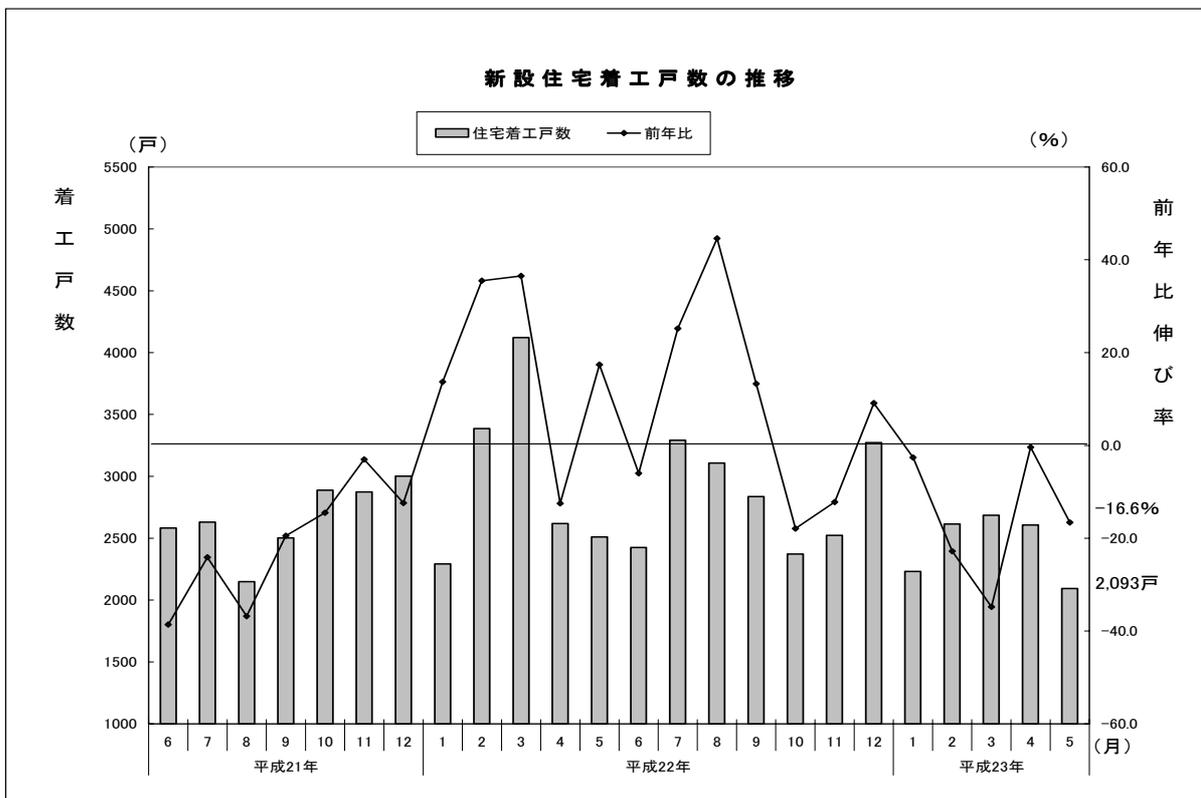
### 5月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	328	400	398	286	76	374	92	38	28	73	2,093
前月比	-678	26	-103	-62	-1	233	41	3	-6	33	-514

資料：兵庫県住宅計画課

平成23年4月～5月の新設住宅着工累計は、総数で4,700戸、前年同期比429戸の減少となった。利用関係別では「持家」が1,607戸(前年同期比6.8%減)、「分譲住宅」が1,775戸(同32.3%増)、「貸家」が1,282戸(同30.3%減)、「給与住宅」が36戸(同84.0%減)となった。



## 【公共工事】

6月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況で見ると、件数は325件で前年同月比13.89%の減少、請負金額は177億88百万円で同25.4%の減少となり、金額ベースで7か月連続で前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「その他の団体」前年同月比73.8%、「神戸市」が同28.9%の増加となったものの、「独立行政法人等」同75.5%、「国」同54.5%、「神戸市を除く市町」同18.5%、「兵庫県」同17.4%の減少となり、前年同月を下回った。

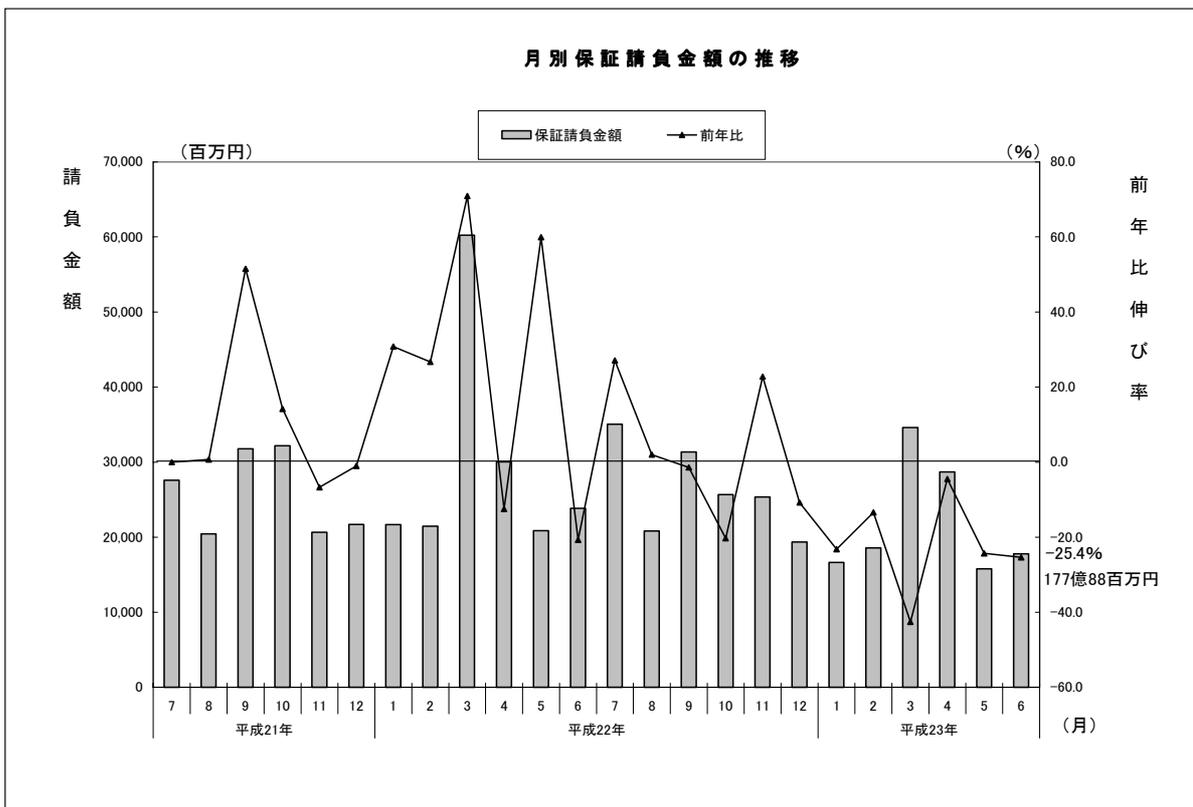
地域別(金額ベース)では、北播磨(前年同月比46.0%増)で増加となったが、丹波(同84.9%減)、淡路(同53.4%減)、阪神北(同38.8%減)、但馬(同37.8%減)、阪神南(同23.5%減)、西播磨(同22.9%減)、中播磨(同22.5%減)、神戸市(同17.1%減)、東播磨(同2.1%減)では減少となった。

### 6月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、( )内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細
国	17( 41.4)	2,322( 54.5)	
独立行政法人等	9( 35.7)	635( 75.5)	
兵庫県	92( 23.3)	4,242( 17.4)	神戸水上警察署庁舎建築工事、尼崎西高校第2期建築工事、丹波加美線清水坂トンネル建設工事多可工区、光風病院児童思春期病棟その他機械設備工事
神戸市	32( 23.8)	2,149( 28.9)	
神戸市を除く市町	152( 4.4)	6,887( 18.5)	
その他の団体	23( 76.9)	1,550( 73.8)	
合計	325( 13.8)	17,788( 25.4)	

資料：西日本建設業保証(株)



## 【貿易】

平成23年5月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,580億円、前年同月比5.7%の増加で、総額ベースで17か月連続の増加となった。輸出は、鉄鋼などが減少したものの、建設用・鉱山用機械、科学光学機器などが増加した。一方輸入は、衣類及び同付属品などが減少したものの、たばこ、有機化合物などが増加した。

輸出は4,232億円(前年同月比1.3%増)と17か月連続で前年を上回った。

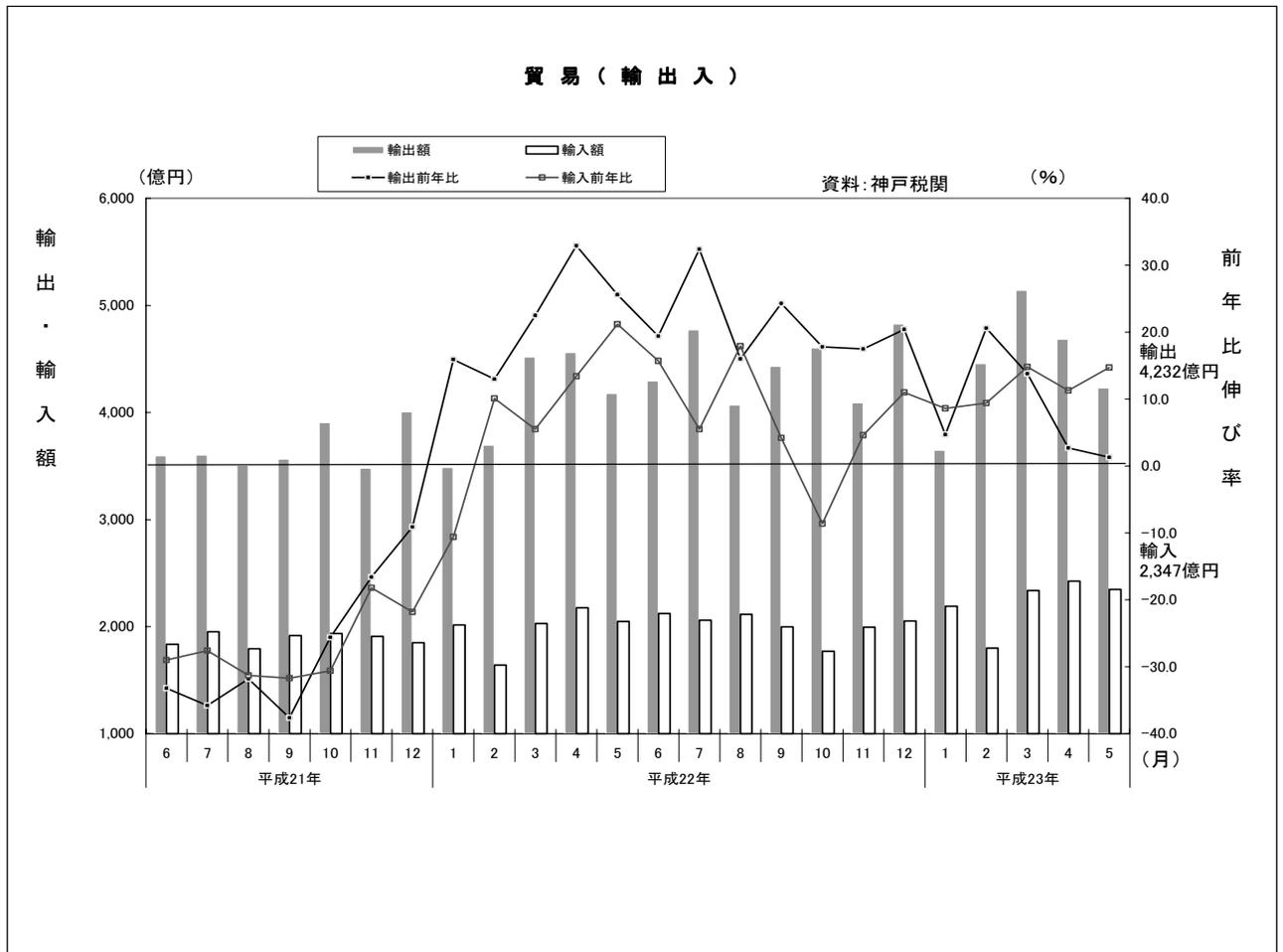
主要品目では、織物用糸及び繊維製品(前年同月比1.9%減、4か月ぶりにマイナス)が減少したものの、原動機(同10.7%増、2か月ぶりにプラス)、プラスチック(同0.1%増、4か月連続プラス)、建設用・鉱山用機械(同44.0%増、17か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同2.7%増、4か月連続プラス)、中国(同5.3%増、4か月連続プラス)、米国(同5.9%増、17か月連続プラス)、EU(同12.0%増、11か月連続プラス)向けが各々増加した。

輸入は2,347億円(前年同月比14.7%増)と7か月連続で前年を上回った。

主要品目では、衣類及び同付属品(前年同月比13.7%減、11か月連続マイナス)、非鉄金属(同5.8%減、16か月ぶりにマイナス)が減少したものの、たばこ(同43.9%増、4か月連続プラス)、有機化合物(同33.6%増、16か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同13.9%増、7か月連続プラス)、中国(同12.2%増、2か月ぶりにプラス)、米国(同8.3%増、4か月連続プラス)、EU(同27.3%増、2か月連続プラス)向けが増加した。



## 【物 価】『消費者物価』

6月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.1(平成17年=100)となり、前月比は0.2%の上昇、前年同月比は0.7%の上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は99.6となり、前月比は0.1%下落し、前年同月比は0.6%上昇した。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は98.3となり、前月比は0.1%下落し、前年同月比は1.0%上昇した。

前月からの動きを見ると、自動車等関係費などの値下がりにより「交通・通信」が0.5%、衣料などの値下がりにより「被服及び履物」が0.9%、身の回り用品などの値下がりにより「諸雑費」が0.3%、家事雑貨などの値下がりにより「家具・家事用品」が0.2%、それぞれ下落した。しかしながら、野菜・海藻などの値上がりにより「食料」が0.8%、家賃の値上がりにより「住居」が0.2%、ガス代などの値上がりにより「光熱・水道」が0.6%上昇した結果、総合指数では前月比0.2%上昇となった。

### 6月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	100.1	102.1	102.0	104.2	86.7	97.2	98.5	97.4	99.0	95.2	105.6	99.6	98.3
前月比	0.2	0.8	0.8	0.6	-0.2	-0.9	0.0	-0.5	0.0	0.0	-0.3	-0.1	-0.1
前年同月比	0.7	-0.8	3.1	2.0	-2.4	0.8	-0.1	-1.6	1.0	0.1	5.7	0.6	1.0

(注)平成17年=100

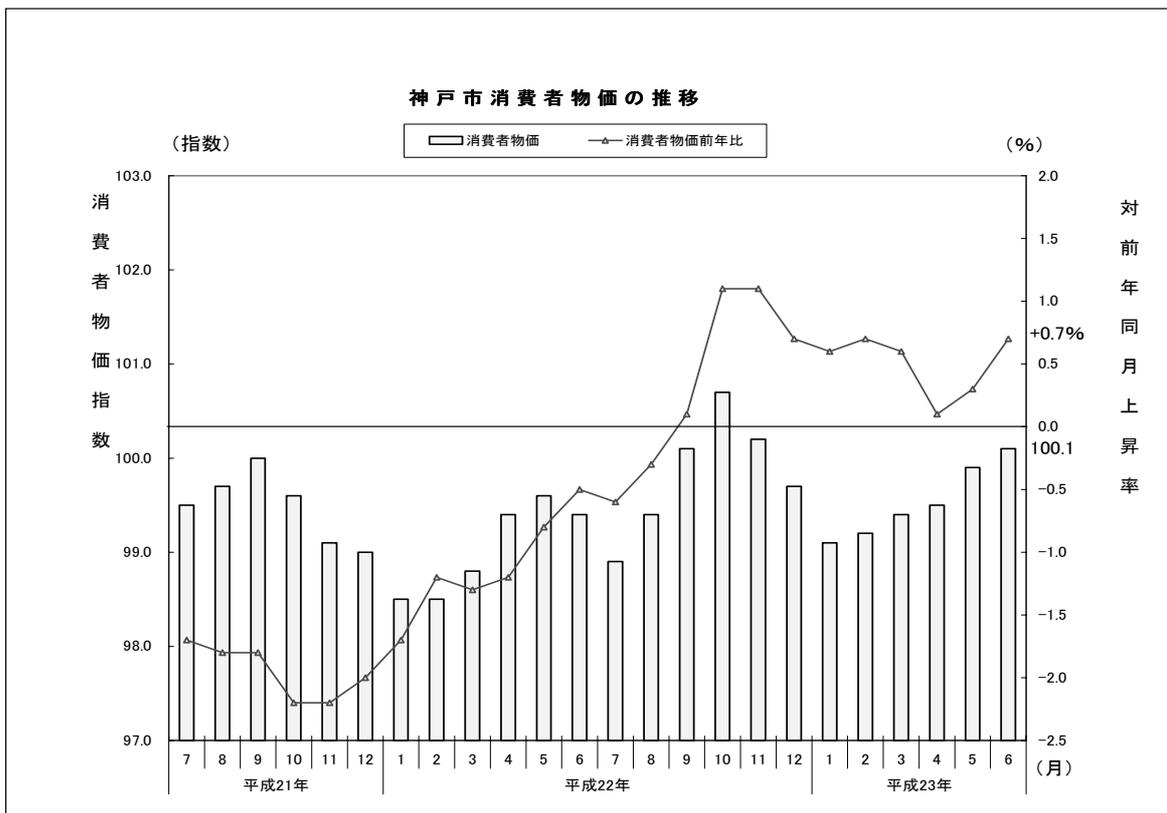
資料：兵庫県統計課

#### 対前月比値上がりした主な品目

野菜・海藻 (+ 4.6%)・・・キュウリ、ほうれん草、ピーマン  
 家賃 (+ 0.3%)・・・民営家賃(非木造中住宅)

#### 対前月比値下がりした主な品目

自動車等関係費 (- 0.9%)・・・ガソリン(レギュラー)  
 衣料 (- 0.8%)・・・スカート(春夏物)、婦人スラックス  
 (ジーンズ)



## 【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が7月12日に発表した、企業物価指数(速報)による2011年6月の実績は次のとおり。

### 6月の企業物価指数

(速報、2005年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	105.4	0.1	2.5
輸出物価	85.6	0.7	2.2
輸入物価	119.9	1.8	10.5

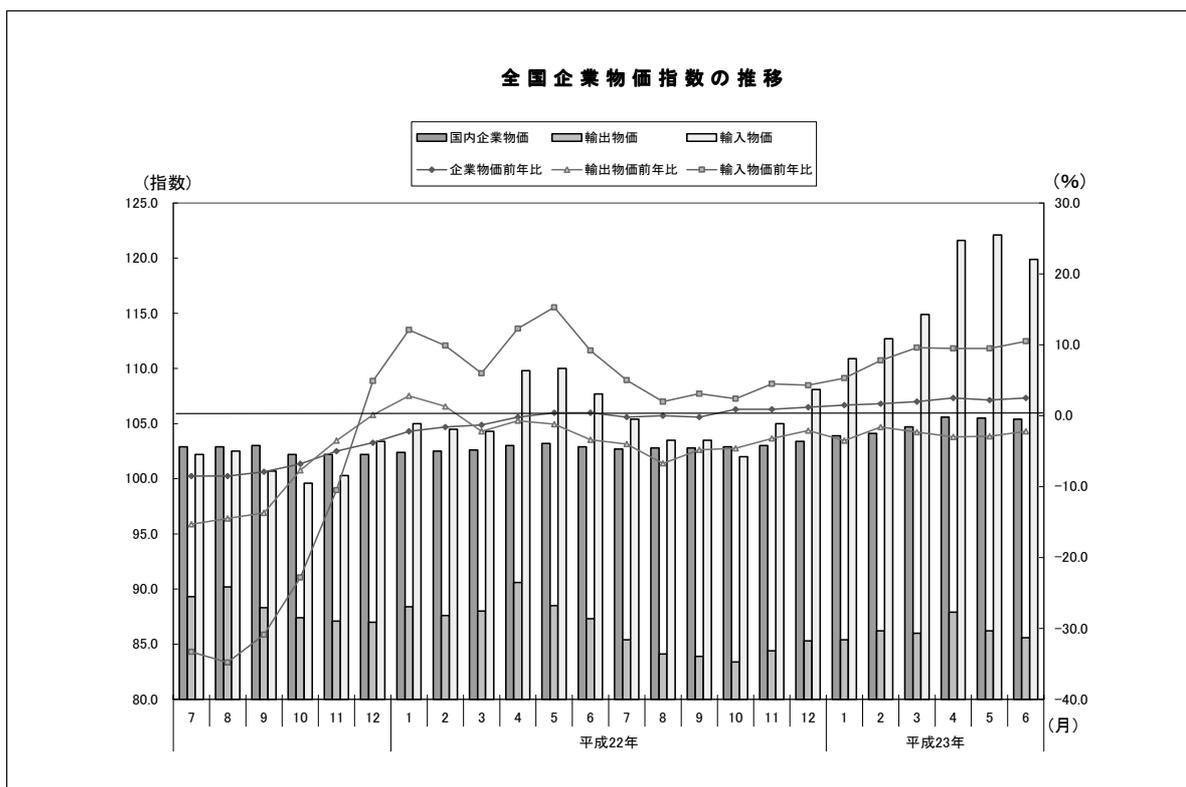
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、電力・都市ガス・水道(前月比+1.4%<大口都市ガスなど>)、プラスチック製品(同+0.6%<非飲料用プラスチック容器など>)、その他工業製品(同+0.3%<配合飼料など>)等が上昇したものの、スクラップ類(同-1.7%<鉄くずなど>)、石油・石炭製品(同-1.4%<A重油、軽油など>)、一般機械(同-0.3%<娯楽機器など>)、鉄鋼(同-0.2%<小型棒鋼など>)、電気機器(同-0.2%<監視制御装置など>)等が低下し、全体では前月比0.1%の低下となった。

前年同月比では、新興国の需要増などを反映した資源高を受け、2.5%の上昇となった。ただ、足元では原油など国際商品価格が下落に転じており、前月比では2か月連続で0.1%の低下となった。

輸出物価は、その他産品・製品(前月比+0.9%<板ガラスなど>)等が上昇したものの、化学薬品(同-2.6%<パラキシレンなど>)、電気・電子機器(同-0.6%<集積回路など>)等が低下し、円ベースでは前月比0.7%の低下(前年同月比-2.2%)となった。

輸入物価は、石油・石炭・天然ガス(前月比-3.5%<原油など>)、金属・同製品(同-1.7%<ニッケル地金、すず地金など>)等が低下し、円ベースでは前月比1.8%の低下(前年同月比+10.5%)となった。



## 【雇 用】

### (1) 求人状況

県内5月の新規求人数(全数)は、20,535人(前年同月比8.4%増、前月比4.2%減)で、13か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は56,903人(前年同月比11.5%増、前月比6.7%減)で13か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比10.3%増で15か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同4.4%増で2か月ぶりに前年を上回った。また臨時・季節では同29.7%増で7か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比30.0%増)、製造業(同28.6%増)、情報通信業(同29.3%増)、運輸業、郵便業(同20.0%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同20.0%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同9.9%増)、医療、福祉(同14.5%増)、サービス業(同3.3%増)は前年を上回ったが、卸売業、小売業(同3.8%減)、宿泊業、飲食サービス業(同12.2%減)は前年を下回った。

### (2) 求職状況

5月の新規求職申込件数(全数)は、26,128件(前年同月比0.6%減、前月比22.2%減)で、8か月連続で前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は114,174人(前年同月比7.7%減、前月比1.0%減)で12か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比1.9%減で14か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同1.6%減で6か月ぶりに前年を上回った。また、臨時・季節については、前年同月比25.4%増で3か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、無業者は前年同月比54.4%増で24か月連続して前年を上回ったが、在職者は同2.4%減で4か月連続して、事業主都合離職者は同15.0%減で17か月連続して、自己都合離職者は同7.0%減で12か月連続して、自営・他は同0.8%増で8か月ぶりに前年を上回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、26,471人(前年同月比11.6%減)で、15か月連続して前年を下回った。

### (3) 求人倍率状況

5月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が0.95倍で前月を上回り、有効求人倍率については0.57倍で前月を下回った。

### (4) 失業者の状況

5月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.5%で前月より0.2ポイント悪化、完全失業者数(原数値)は293万人(前年同月差38万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は5.3%(前年同月より0.5ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は55万人(前年同月差5万人減)となった。

## 産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
23年5月	20,535	1,547	2,764	265	1,247	3,115	167	317	595	1,330	944	5,052	2,269
前年同月比	84	30.0	28.6	29.3	20.0	2.8	3.5	0.6	20.0	9.9	9.9	14.5	3.3

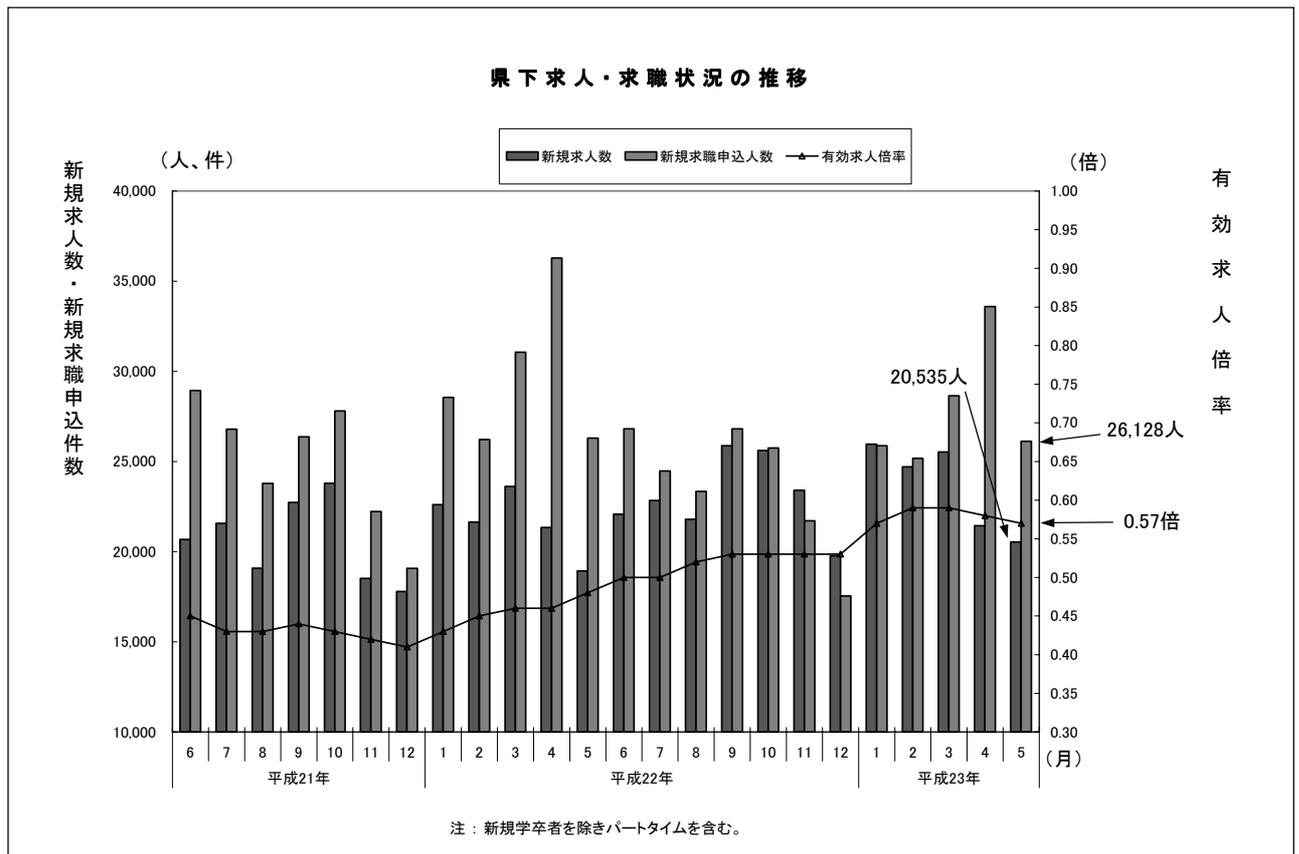
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

## 雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	10/4-6	10/7-9	10/10-12	11/1-3	11/3	11/4	11/5
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.48	0.51	0.54	0.58	0.59	0.58	0.57
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	5.4	11.2	14.5	12.3	8.1	0.4	8.4
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	13.2	14.7	12.5	8.3	11.7	7.6	
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	1.1	1.2	0.6	1.2	1.1	0.7	
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	0.7	0.0	1.7	0.4	1.7	1.1	

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



## 【信用保証】

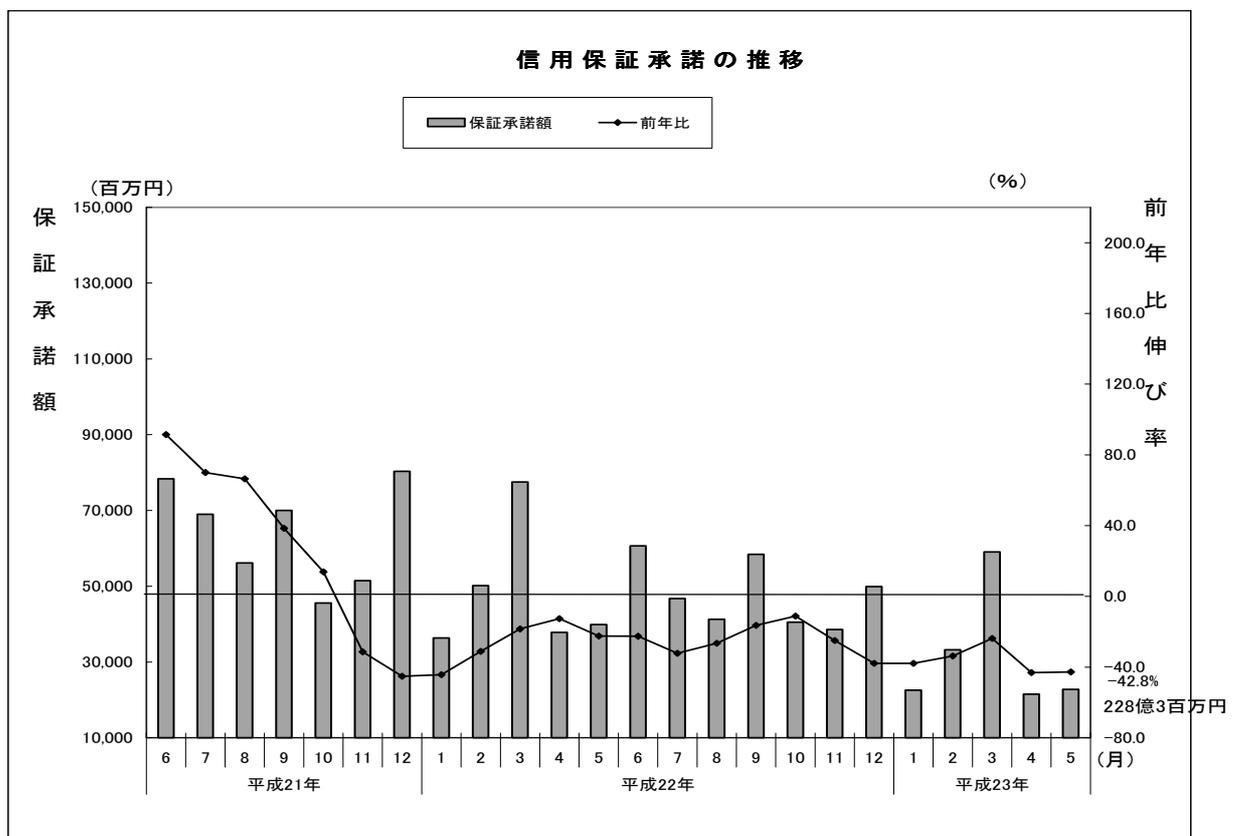
兵庫県信用保証協会による5月の保証承諾実績は、件数で1,725件(前年同月比29.4%減)、金額は228億3百万円(同42.8%減)となり、19か月連続で前年実績を下回った。

平成20年10月末導入の緊急保証制度の承諾が高水準で推移していた反動により、件数、金額とも連続減となった。

業種別(金額ベース)では、「飲食店」553百万円(前年同月比24.2%減)、「サービス業」2,980百万円(同30.0%減)、「運送・倉庫業」1,345百万円(同30.9%減)、「不動産業」1,110百万円(同34.8%減)、「卸売業」4,186百万円(同41.6%減)、「製造業」3,994百万円(同47.3%減)、「小売業」2,300百万円(同47.4%減)、「建設業」6,274百万円(同47.9%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、321件(前年同月比18.5%減)、40億62百万円(同3.7%増)となった。

5月末の保証債務残高は、117,465件(前年同月比2.1%減)、1兆4,304億円(同3.0%減)となった。



## 【金融】

5月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	139,837	2.5	57,037	0.8
地方銀行	23,585	2.2	19,071	1.5
第二地方銀行	30,313	1.9	19,652	3.8
信用金庫	77,852	1.3	38,231	0.6
その他	16,528	5.0	16,797	1.9
計	288,115	2.2	150,788	0.9

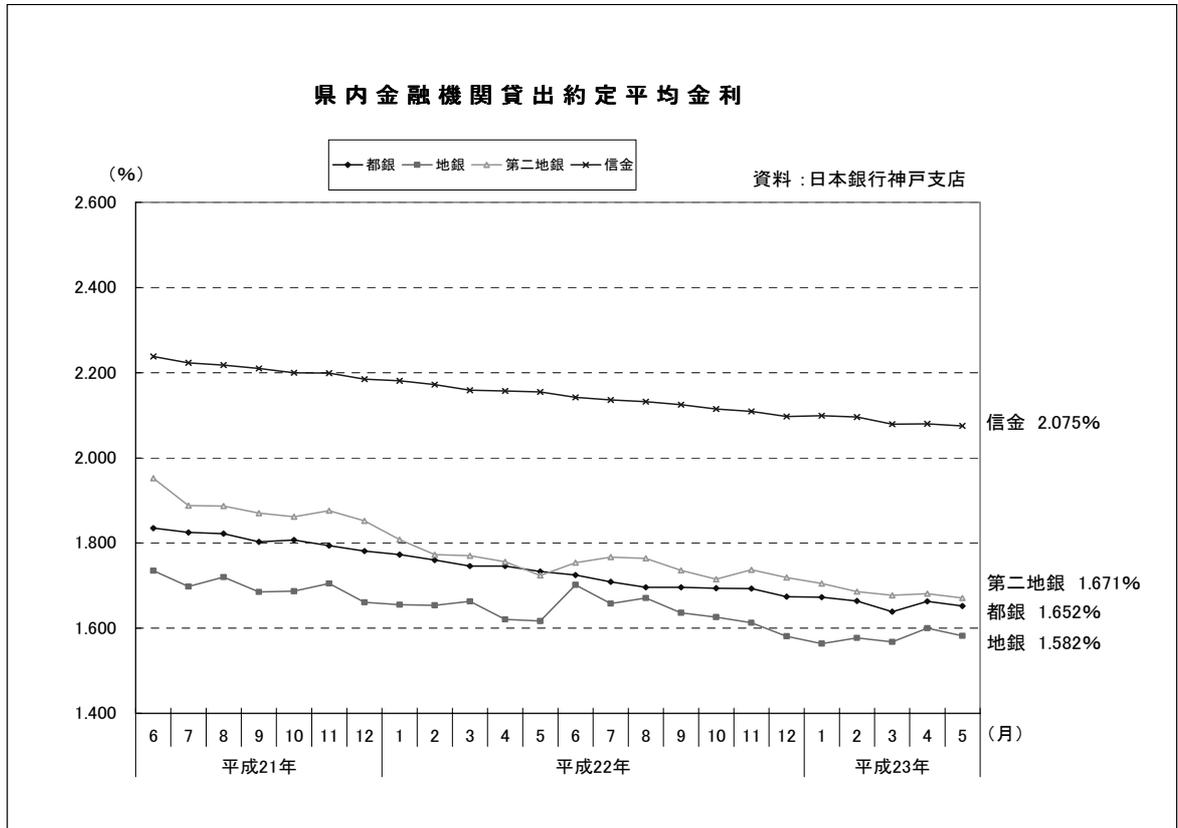
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

5月の預金は、前年を上回って推移している。

5月の貸出は、前年を下回って推移している。

5月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(5月末水準 1.794%、前月比 0.010%ポイント)。



## 【倒 産】

県内6月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は61件で前年同月比16.4%減少、負債総額は56億87百万円で同61.0%の減少となった。倒産件数は、今年に入って最多となったが、負債総額は今年最小を記録、100億円を下回ったのは今年に入って4回目。一般的に「小口倒産」が多く、「不況型倒産」が47件発生、県下全域で倒産が見られた。

原因別(件数)では、販売不振が37件(全体の60.7%)と前月比5件の増加で当月もトップ。2番目は赤字累積で10件、次いで放漫経営が5件と続いている。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等の「不況型倒産」は47件と前月比14件の大幅増加となり、構成比は77.0%と依然高い割合を占めている。

業種別(件数)では、建設業が19件(全体の31.1%)と最も多く、2番目は食品業が14件、次いで不動産・サービス他業が11件、金属・機械・電気業が7件と続いている。

日本銀行神戸支店が7月1日に発表した「管内金融経済概況」では、「震災による下押し圧力が徐々に和らぐ中で、生産面を中心に持ち直しつつある」と2か月連続で判断を引き上げた。

「資本金別」では、「個人企業」と「1百万円以上」が各々19件でトップ、次いで「1千万円以上」が17件、「5百万円以上」が3件となった。「産業別」では、「建設業」が19件でトップ、次いで「サービス・他業」が15件となった。

3月に発生した東日本大震災からの生産面での復調は当初想定より上回るペースも聞かれ、大手を中心に緩やかに戻りつつある一方で、依然として、中小・零細企業を取り巻く業況は一般的に厳しく、大手との間には乖離した状況が続いているのが現状と言える。当月の1件当たり負債総額は9,323万円と1億円を下回り、この部分からも上述した「小口倒産」が顕著であったことが窺える。今夏の節電を中心とした電力問題、これに伴う生産調整等や冷え込んだ消費マインド等も踏まえると、引き続き経営体力を損耗している中小・零細企業を中心に注視が必要であり、今後も「小口倒産」が続発する可能性が懸念される。

6月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	5	5	0	3	2	金属・機械・電気	7	3	4	11	-4
過小資本	2	3	-1	1	1	化学・薬品	1	0	1	0	1
連鎖倒産	3	4	-1	1	2	ゴム・皮革・ケミカル	2	1	1	2	0
赤字累積	10	1	9	2	8	食品	14	6	8	8	6
販売不振	37	32	5	57	-20	建設	19	12	7	26	-7
売掛金回収難	0	0	0	0	0	不動産・サービス	11	15	-4	16	-5
その他	4	0	4	9	-5	運輸・通信他	7	8	-1	10	-3
合計	61	45	16	73	-12	合計	61	45	16	73	-12

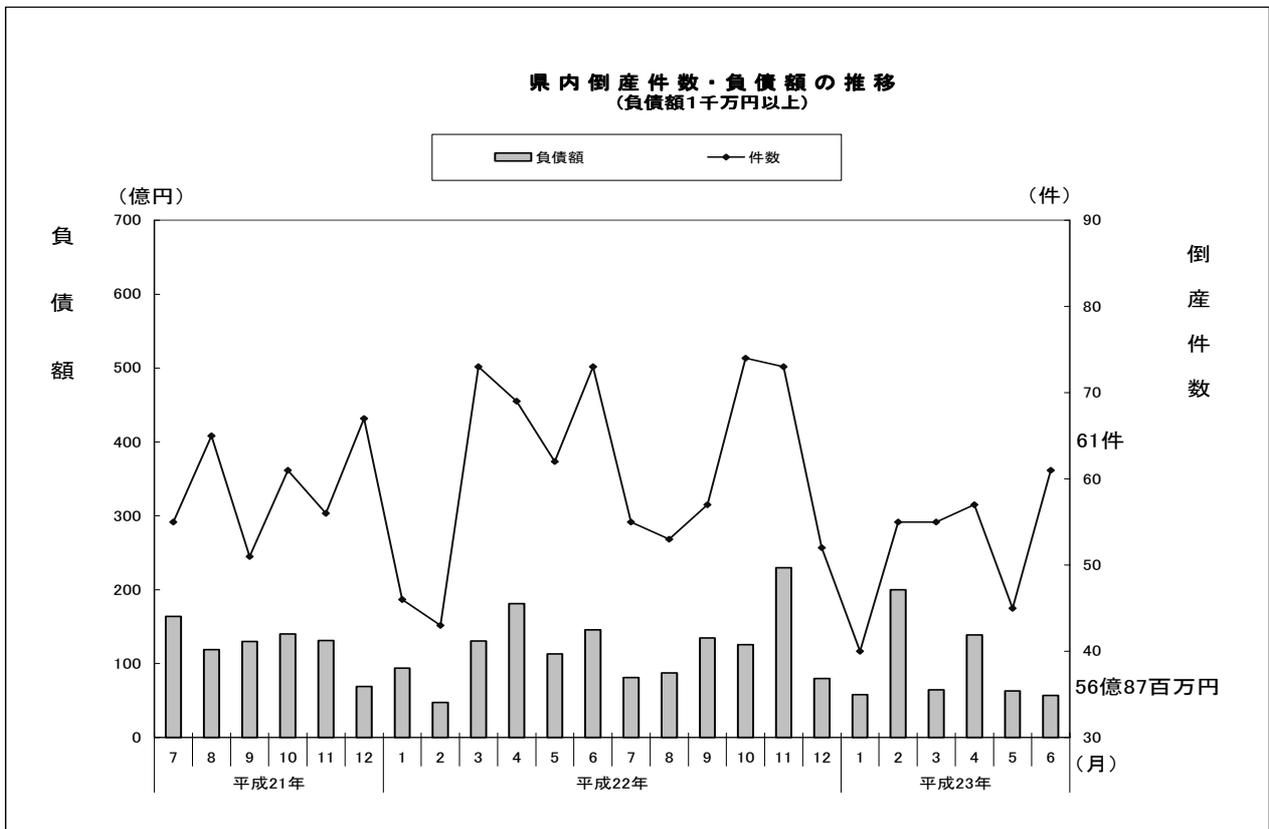
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
18年 平均	50.4	16.0	16.2	5.8	8.3	1.7	1.3	1.1
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 1月	40	6	15	7	10	2	0	0
23年 2月	55	16	14	14	6	2	2	1
23年 3月	55	16	20	12	5	1	1	0
23年 4月	57	21	17	6	10	0	2	1
23年 5月	45	14	17	3	7	1	1	2
23年 6月	61	13	23	8	12	2	1	2

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



# 県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比
		%	%	(億円)	%	%	(戸)	%	%	
22年 1月	95.6	1.7	92.1	2.7	217	30.8	-3.8	2,291	13.7	-8.1
2月	92.8	-1.3	93.7	-0.6	215	26.7	-8.8	3,387	35.5	-9.3
3月	90.9	-2.1	94.8	1.2	602	70.9	-16.0	4,120	36.5	-2.4
4月	94.3	3.8	96.0	1.3	300	-12.5	-0.1	2,618	-12.5	0.6
5月	96.8	2.4	96.1	0.1	209	59.9	-5.9	2,511	17.4	-4.6
6月	98.2	1.5	95.0	-1.1	239	-20.7	-5.8	2,426	-6.0	0.6
7月	94.9	-3.6	94.8	-0.2	350	27.1	-8.8	3,293	25.2	4.3
8月	97.9	4.2	94.3	-0.5	208	2.0	-8.4	3,107	44.6	20.5
9月	95.6	-2.3	92.8	-1.6	314	-1.4	-18.8	2,836	13.3	17.7
10月	95.3	-0.4	90.9	-2.0	257	-20.3	-18.1	2,372	-17.9	6.4
11月	93.0	-2.3	91.8	1.0	254	22.8	-6.8	2,522	-12.2	6.8
12月	96.9	3.9	94.8	3.3	194	-10.8	-18.1	3,273	9.1	7.5
23年 1月	97.4	0.2	96.0	1.3	166	-23.2	-9.9	2,232	-2.6	2.7
2月	101.3	4.1	97.9	1.8	186	-13.4	4.2	2,615	-22.8	10.1
3月	95.8	-5.5	82.7	-15.5	346	-42.6	-3.5	2,685	-34.8	-2.4
4月	r 98.8	2.1	84.0	1.6	287	-4.5	-11.2	2,607	-0.4	0.3
5月	p 102.7	3.9	89.2	6.2	158	24.3	-14.1	2,093	-16.6	6.4
6月					178	-25.4	-3.4			
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫県支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

\* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比
	(台)	%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%
22年 1月	13,089	29.8	24.9	202	-5.1	-5.7	3,487	15.9	2,016	-10.6
2月	16,509	25.7	21.9	144	-9.2	-5.3	3,696	13.0	1,642	10.1
3月	23,000	29.3	25.2	185	-3.5	-3.6	4,520	22.5	2,029	5.5
4月	11,698	27.7	26.4	173	-3.9	-3.7	4,561	32.9	2,176	13.4
5月	11,392	20.1	23.0	174	4.2	-2.1	4,179	25.6	2,047	21.2
6月	14,759	17.1	18.1	175	-9.4	-5.7	4,297	19.4	2,122	15.7
7月	16,129	10.9	12.9	219	3.6	-1.4	4,774	32.4	2,060	5.5
8月	14,456	45.9	40.1	161	-2.0	-3.0	4,072	16.0	2,115	17.9
9月	16,338	-6.2	-3.2	159	-5.1	-5.0	4,431	24.3	1,998	4.2
10月	9,670	-29.8	-25.9	176	-1.2	0.6	4,606	17.9	1,771	-8.5
11月	10,036	-31.3	-29.8	193	-0.2	-0.4	4,092	17.5	1,997	4.6
12月	9,426	-26.9	-25.5	267	-1.3	-1.5	4,827	20.4	2,053	11.0
22年 1月	10,161	-22.4	-19.0	199	-1.2	-1.1	3,650	4.7	2,191	8.6
2月	13,994	-15.2	-13.8	153	-0.5	0.6	4,460	20.7	1,799	9.4
3月	14,841	-35.5	-37.4	175	-5.4	-15.0	5,143	13.8	2,337	14.8
4月	5,776	-50.6	-48.5	175	0.7	-1.8	r 4,686	2.7	r 2,424	11.3
5月	7,635	-33.0	-33.3	167	-4.2	-2.6	p 4,232	1.3	p 2,347	14.7
6月	11,464	-22.3	-21.9	170	-2.6					
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

\* p は速報値 r は確報値

\* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (17年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (12年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
22年 1月	0.43	0.46	999	-0.4	96.4	-2.9	98.5	-1.7	99.4	-1.3
2月	0.45	0.47	997	-0.6	96.7	-1.0	98.5	-1.2	99.3	-1.1
3月	0.46	0.49	993	-0.3	97.3	-0.7	98.8	-1.3	99.6	-1.1
4月	0.46	0.48	1,000	-0.9	98.1	-0.2	99.4	-1.2	99.6	-1.2
5月	0.48	0.50	1,003	-1.1	97.2	0.4	99.6	-0.8	99.7	-0.9
6月	0.50	0.52	1,002	-1.0	98.0	0.6	99.4	-0.5	99.7	-0.7
7月	0.50	0.53	1,004	-0.4	97.9	0.4	98.9	-0.6	99.2	-0.9
8月	0.52	0.54	1,002	-0.5	97.7	0.6	99.4	-0.3	99.5	-0.9
9月	0.53	0.55	1,003	-0.4	98.3	0.5	100.1	0.1	99.8	-0.6
10月	0.53	0.56	1,005	0.2	98.1	1.2	100.7	1.1	100.2	0.2
11月	0.53	0.57	1,007	0.2	98.3	0.6	100.2	1.1	99.9	0.1
12月	0.53	0.57	1,004	-0.1	98.0	0.7	99.7	0.7	99.6	0.0
23年 1月	0.57	0.61	1,001	0.2	96.5	0.1	99.1	0.6	99.4	0.0
2月	0.59	0.62	998	0.1	96.7	0.0	99.2	0.7	99.3	0.0
3月	0.59	0.63	996	0.3	98.5	1.2	99.4	0.6	99.6	0.0
4月	0.58	0.61	1,009	0.9	98.3	0.2	99.5	0.1	99.9	0.3
5月	0.57	0.61	1,012	0.9	97.2	0.0	r 99.9	0.3	100.0	0.3
6月							p 100.1	0.7		
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (17年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額			全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数	
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %	(年%)				(件)	(億円)
22年 1月	102.4	-2.2	152,961	0.1	1.649	46	94	11	17	18
2月	102.5	-1.6	152,784	0.1	1.641	43	47	17	12	14
3月	102.6	-1.3	153,787	-1.0	1.623	73	131	24	25	24
4月	103.0	-0.2	151,763	-1.3	1.618	69	181	21	28	20
5月	103.2	0.4	152,195	-1.5	1.614	62	113	22	18	22
6月	102.8	0.4	151,049	-1.3	1.599	73	146	26	25	22
7月	102.8	-0.2	151,709	-1.2	1.597	55	81	12	21	22
8月	102.8	0.0	150,656	-1.2	1.588	53	87	20	14	19
9月	102.9	-0.2	151,553	-1.4	1.565	57	135	22	17	18
10月	102.9	0.9	151,406	-1.1	1.569	74	125	28	28	18
11月	103.0	0.9	150,620	-1.0	1.566	73	230	29	22	22
12月	103.4	1.2	152,555	-0.8	1.551	52	80	18	20	14
23年 1月	103.9	1.5	151,540	-0.9	1.547	40	58	6	15	19
2月	104.1	1.7	151,452	-0.9	1.539	55	200	16	14	25
3月	104.7	2.0	154,140	0.2	1.519	55	65	16	20	19
4月	105.6	2.5	151,177	-0.4	1.521	57	139	21	17	19
5月	r 105.5	2.2	150,788	-0.9	1.512	45	63	14	17	14
6月	p 105.4	2.5				61	57	13	23	25
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

\* p は速報値 r は確報値